

国立大学法人上越教育大学

中期目標期間 [H22~27 年度]の主な取組

学部生に対しては

- 卒業までの到達目標・能力を明確にします。
- 教育関連就職率（進学者除く）を **70%以上**とします。
- 入学から卒業まで一貫した支援（学習・生活・就職など）を行います。
- 大学の教員の3割以上が教職経験者であることを維持します。

教育系拠点大学として

- 社会的要請の高い研究や先導的な研究の推進と成果を公表するための支援体制を強化します。
- 研究の成果は積極的に公開し、学校の教育実践に還元します。

大学院生に対しては

- 現職教員院生には、理論と実践を融合できる能力を育成します。（修士課程）
- 確かな指導理論と優れた実践力・応用力を備えた中核的中堅教員を養成します。（専門職学位課程）
- 学卒院生には、学校における臨床的研究を重視します。（修士課程）
- 学校づくりの有力な一員となり得る新任教員を養成します。（専門職学位課程）
- 教育職員免許取得プログラム受講生には、特色ある多様な人材を教員として養成します。

国際的な視野をもつために

- 学生や教員の海外派遣や海外の大学などとの学術交流を推進します。また、これらの活動を行うための制度や体制を整備します。

学校教育や地域文化に対しては

- 学校が抱えている課題に対し、近隣地域の先生との連携により毎年 15 件以上の研究を実施します。
- 教育委員会や学校と連携して研究を推進します。
- 市民の目指す地域社会づくりを支援します。

学内教員に対しては

- 教育、研究、社会貢献、学内貢献などを全学的に評価して研究資金などを配分します。
- 科学研究費補助金の申請件数を、平成 21 年度に比べ中期目標期間中に 20%増やします。
- 若手教員が行う研究に対し毎年 10 件以上の助成をします。

組織を活性化させるために

- 女性教職員が活躍できる環境づくりを推進します。
- 適切な人材評価を実施します。
- 大学運営上有意義な研修を、毎年 2 割以上の事務系職員が受講します。

大学院を中心とした学校教育における**高度専門職業人養成**を基軸に、上記の7つの主要目標を掲げます。

全ての中期計画は、[こちら](#)へ